

岡山県感染症対策委員会議事次第

日時：令和2年11月2日（月）17時～
場所：県庁3階 大会議室

1 開 会

2 調査審議事項

新型コロナウイルス感染症対策について

(1) 流行状況について..... P. 1

(2) 専門家チームの機能強化について..... P. 7

(3) インフルエンザ流行に備えた体制整備について

① 診療・検査医療機関の指定等について..... P. 9

② 医療提供体制の確保について..... P. 13

3 その他

4 閉 会

令和2年度岡山県感染症対策委員会出席者名簿

氏名	所属	職名	備考	出欠
松山 正春	(公社)岡山県医師会	会長		○
國富 泰二	(公社)岡山県医師会	理事	小児科	○
田淵 和久	(公社)岡山県医師会	理事	産婦人科	○
小田 慈	岡山大学／新見公立大学	名誉教授／副学長	小児科(血液、腫瘍)	○
頼藤 貴志	岡山大学大学院医歯薬学総合研究科	教授	公衆衛生分野	○
塚原 宏一	岡山大学大学院医歯薬学総合研究科	教授	小児科	○
山田 雅夫	新見公立大学／岡山大学	特任教授／名誉教授	病原ウイルス学	○
尾内 一信	川崎医科大学	教授	小児科	×
今城 健二	岡山市立市民病院	副院長	内科	○
橋本 徹	倉敷中央病院	主任部長	臨床検査医学	○
藤田 浩二	津山中央病院	感染症内科特任部長		○
谷本 安	南岡山医療センター	院長		○
西井 研治	(公財)岡山県健康づくり財団附属病院	院長	内科(呼吸器)	○
宮田 明美	(公社)岡山県看護協会	会長		○
栢野 万里恵	岡山弁護士会			○
松岡 宏明	岡山市保健所	所長		○
赤在 あゆみ	倉敷市保健所	参事		×
西嶋 康浩	岡山県保健福祉部	部長		○
國富 優香	岡山県保健福祉部健康推進課	課長		○
徳山 雅之	岡山県備前保健所	所長		○
望月 靖	岡山県環境保健センター	所長		○

臨時委員

氏名	所属	職名	備考	出欠
中瀬 克己	吉備国際大学保健医療福祉学部	教授		○

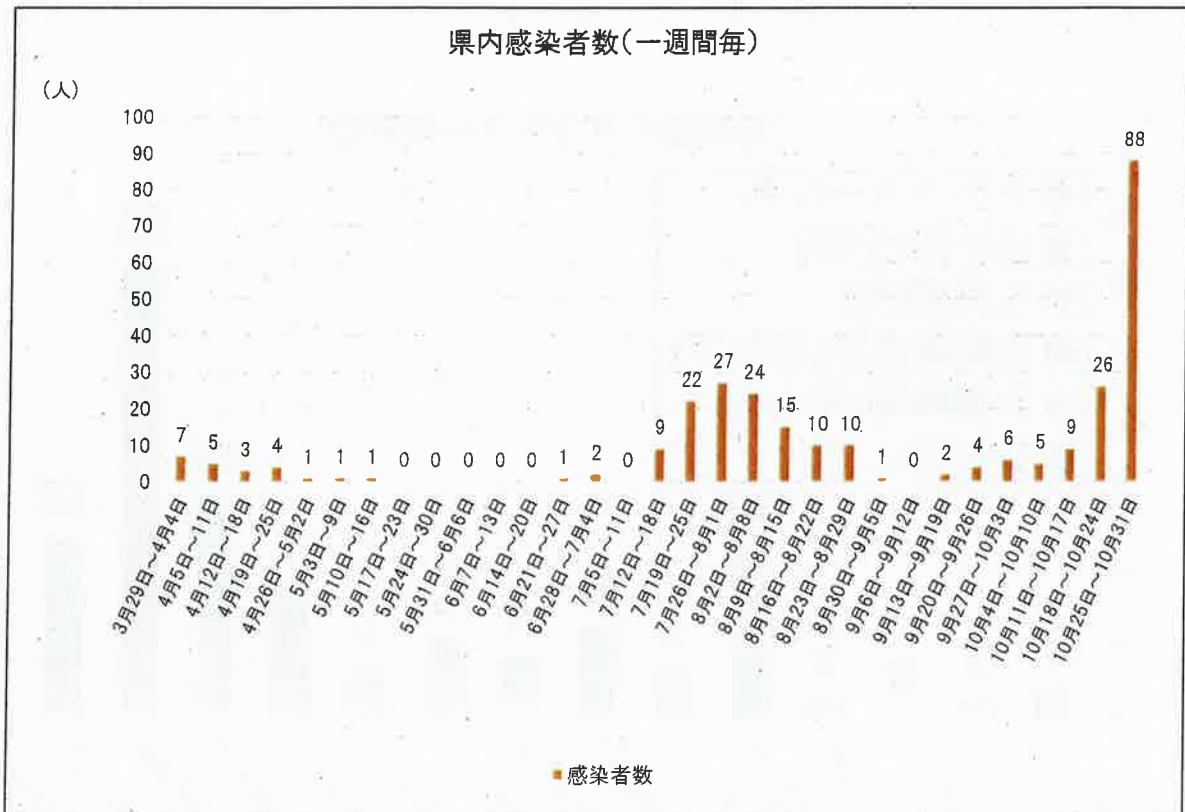
新型コロナウイルス感染症に係る県内の状況

＜県内で確認された新型コロナウイルス感染者（10月31日）現在＞

(単位：件)

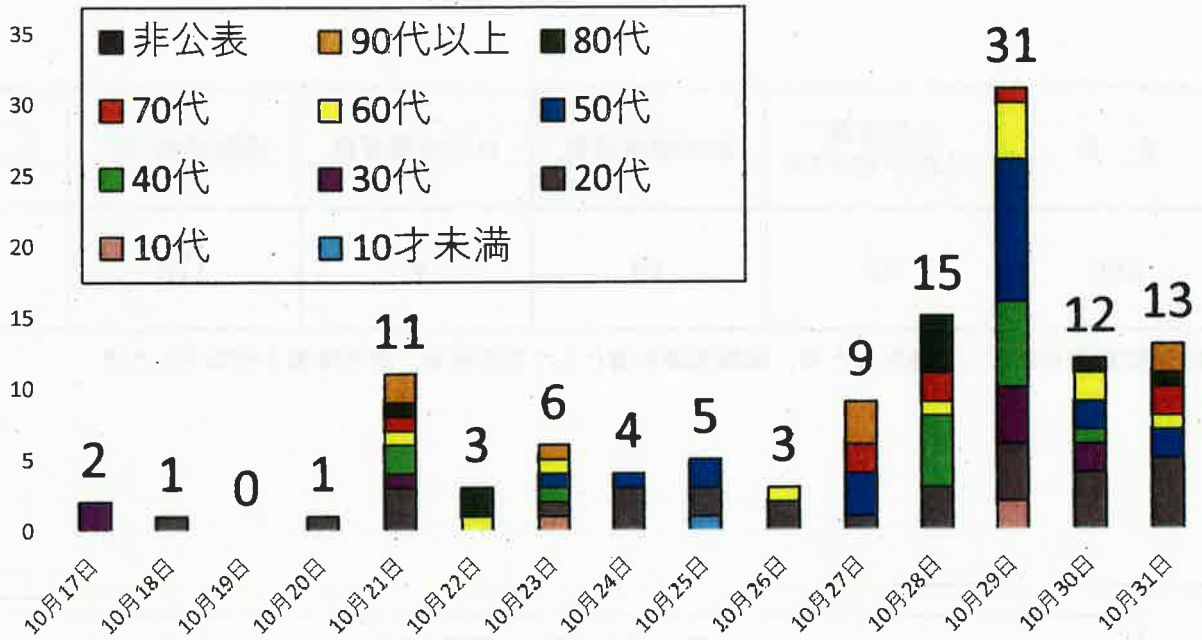
合 計	入院者数 (入院予定含む)	宿泊療養者数	自宅療養者数	退院者等(※)	死亡
286	82	18	6	176	4

(※)退院基準を満たして退院した者、解除基準を満たして宿泊療養、自宅療養を解除された者

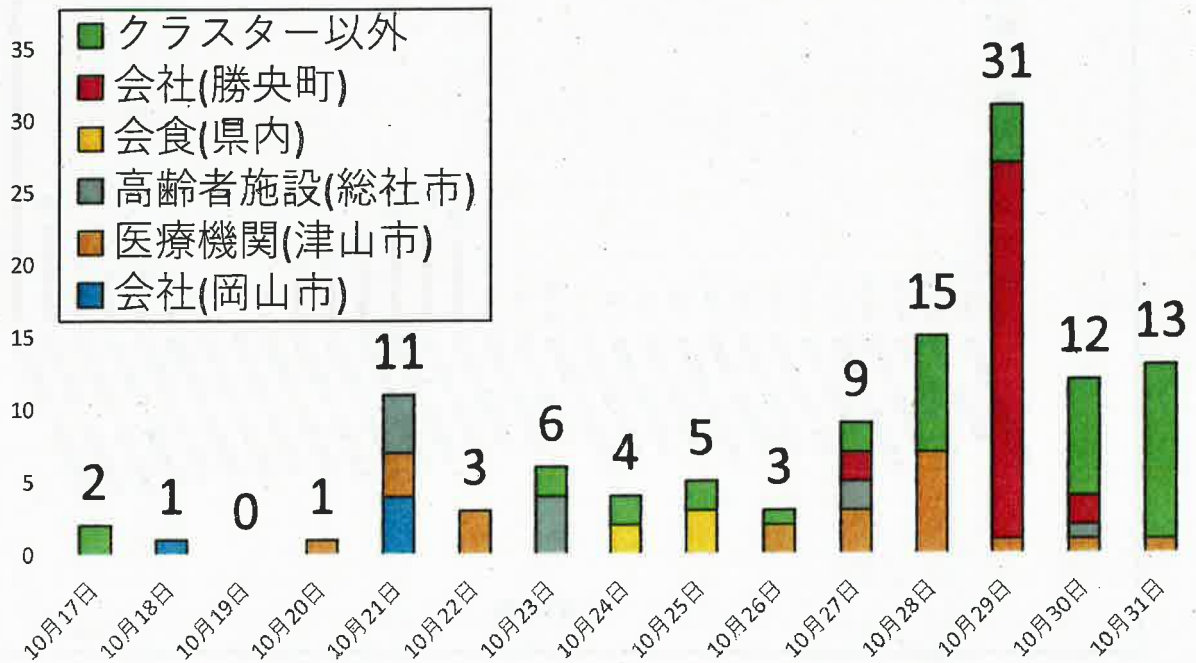


県内感染者の年代別、クラスター別割合（10/17以降）

感染者の年代別割合



感染者のクラスター別割合



※二次感染者はクラスターに含まない。 単位：人、日付は公表日ベース

10月以降の岡山県内クラスター発生状況

発生機関 (市町村名)	初発例 発表日	初発例 発症日	クラスター人数 (11/ 1現在)	二次感染者数 (11/ 1現在)	陽性者居住地 (二次感染者含む)
会社 (岡山市)	10月16日	10月11日	6	0	岡山市
医療機関 (津山市)	10月20日	10月17日	22 (入院患者：8 (退院1名含む) 従事者：14)	1	津山市 美咲町 鏡野町
高齢者施設 (総社市)	10月21日	10月16日	11 (入所者：6 従事者：5)	1	総社市
飲食店 (津山市)	10月24日	10月18日	5 (県外者1名含む)	4	津山市 勝央町
会社 (勝央町)	10月27日	10月19日	30	12	津山市 美作市 勝央町 奈義町

対策フェーズ	活動自粛	段階的な活動再開	感染対策と活動の両立	活動の全面再開
活動再開の目安	<p>下記のすべてに該当する場合などで総合的に判断する</p> <p>【流行状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> 直近1週間の新規感染者数 \div 概ね1未満 その前1週間の新規感染者数 直近1週間の新規感染者数が9人未満程度(人口10万人あたり0.5人未満程度に相当) <p>【医療体制】</p> <ul style="list-style-type: none"> 感染症指定病床の入院患者数 \div 概ね2割未満 感染症指定病床数 <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> 国内や隣県の流行状況も勘案 監視体制や検査体制等も勘案 	<p>下記のすべてに該当する場合などで総合的に判断する</p> <p>【流行状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> 左記の「概ね1未満」が2週間継続 直近1週間に感染源不明の新規感染者がみられない <p>【医療体制】</p> <ul style="list-style-type: none"> 医療体制が逼迫していない 人員体制や衛生資材が確保できている <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> 国内や隣県の流行状況も勘案 監視体制や検査体制等も勘案 緊急事態宣言が解除 	<p>ワクチンが実用化され、ワクチン接種等により、国民の大多数が免疫を獲得</p> <p>(集団免疫を獲得)</p>	
活動自粛の目安	<p>活動自粛</p>		<p>段階的な活動再開</p> <p>感染対策と活動の両立</p>	
活動自粛の目安	<p>下記のいずれかに該当する場合などで総合的に判断する</p> <p>【流行状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> 直近1週間の感染者数とその前1週間と比べ急増(クラスターが発生、倍化期間3日程度、5日間連続で新規感染者数が増加 など) <p>【医療体制】</p> <ul style="list-style-type: none"> 医療体制が逼迫している 人員体制や衛生資材の確保が困難 <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> 国内や隣県の流行状況も勘案 監視体制や検査体制等も勘案 緊急事態宣言が発令 			<p>感染症指定病床の入院患者数 \div 概ね5割以上 など</p> <p>感染症指定病床数</p>

フェーズごとの主な対策

週ごとの患者数や他県の流行状況も見ながら段階的に判断していく

令和2年5月22日

岡山県新型コロナウイルス感染症対策本部会議資料

	活動自粛フェーズ	段階的な活動再開フェーズ	感染対策と活動の両立フェーズ	活動の全面再開
状況	感染者数が持続的に増加 医療体制が逼迫 国内の感染者数が急増	感染者数が持続的に減少 国内の感染者数が減少傾向	感染者数が減少、感染源不明の新規感染者もみられない 国内の流行状況も落ち着いている	ワクチンや効果的な治療薬が実用化、集団免疫を獲得
目的	感染拡大・県外流入抑制 医療体制の維持	封じ込め状態の確認 「密」を回避しつつ社会機能の段階的再開	封じ込め状態の維持 社会機能の回復	制限の解除 社会機能の回復
医療等	・病院は重症者の入院治療を優先、軽症者は自宅・宿泊療養 ・面会の原則禁止、利用者・従事者の健康管理など感染防止策の徹底を要請		引き続き感染防止策の徹底を要請	ワクチン接種や効果的な治療薬の使用が可能
遠出	県境を越えた不要不急の移動自粛を要請		流行地への不要不急の往來自粛、帰宅後14日間の外出自粛を要請	
外出	有症状者の外出自粛 不要不急の外出自粛 「密」の回避行動の徹底	有症状者の外出自粛 クラスター発生施設への出入自粛など「密」の回避行動の徹底	有症状者の外出自粛 社会的距離確保、「密」の回避行動など「新たな生活様式」の実践	
学校	休校またはオンライン授業	休校またはオンライン授業 登校日を設定	適切な感染防止策を講じ、再開	
企業	可能な限り在宅勤務を推奨	在宅勤務を推奨		
商業	特に対策が必要な施設に対し、営業自粛の協力要請	適切な感染防止策を講じ、再開		
遊興	特に対策が必要な施設に対し、営業自粛の協力要請	適切な感染防止策が困難な場合、営業自粛の協力要請	適切な感染防止策を講じ、再開	
県有施設	多数の人が利用する施設は休止	適切な感染防止策を講じ、再開 県外客が多い施設等は休止	適切な感染防止策を講じ、再開	
イベント	全てのイベントの中止・延期	全国規模又は概ね50人以上のイベント等は中止・延期	「密」につながるもの、全国規模のもの等は中止・延期、その他は対策を講じた上で、開催可能(別紙)	

※上記の対策は、各フェーズで一律に切り替えるのではなく、感染者の発生状況等により、一部の対策から段階的に実施することも想定される

各都道府県で今後想定される感染状況

「新型コロナウイルス感染症
対策分科会提言」資料より抜粋

- 目標** : 医療・公衆衛生・経済が両立しうる範囲で、
- ①十分に制御可能なレベルに感染を抑制し、死亡者・重症者数を最小化。
 - ②迅速に対応し、感染レベルをなるべく早期に減少へと転じさせる。
- ※感染状況及び対策の検討にあたっては、大都市部と地方部の違いに配慮が必要。

ステージⅠ 感染者の散発的発生及び医療提供体制に特段の支障がない段階

ステージⅡ 感染者の漸増及び医療提供体制への負荷が蓄積する段階

3密環境などリスクの高い場所でクラスターが度々発生することで、感染者が漸増し、重症者が徐々に増加してくる。このため、保健所などの公衆衛生体制の負荷も増大するとともに、新型コロナウイルス感染症に対する医療以外の一般医療も並行して実施する中で、医療提供体制への負荷が蓄積しつつある。

P6の取組及びP7の取組のうち、黒字の取組を実施

ステージⅢの指標

ステージⅢ 感染者の急増及び医療提供体制における大きな支障の発生を避けるための対応が必要な段階

ステージⅡと比べてクラスターが広範に多発する等、感染者が急増し、新型コロナウイルス感染症に対する医療提供体制への負荷がさらに高まり、一般医療にも大きな支障が発生することを避けるための対応が必要な状況。

ステージⅢで講ずべき施策(P7)を実施

ステージⅣの指標

ステージⅣ 爆発的な感染拡大及び深刻な医療提供体制の機能不全を避けるための対応が必要な段階

病院間クラスター連鎖などの大規模かつ深刻なクラスター連鎖が発生し、爆発的な感染拡大により、高齢者や高リスク者が大量に感染し、多くの重症者及び死亡者が発生し始め、公衆衛生体制及び医療提供体制が機能不全に陥ることを避けるための対応が必要な状況。

ステージⅣで講ずべき施策(P8)を実施

指標及び目安

以下の指標は目安であり、また、これらの指標をもって機械的に判断するのではなく、国や都道府県はこれらの指標を総合的に判断していただきたい。また、都道府県独自に積極的な対応を行うことを期待したい。

	医療提供体制等の負荷		監視体制	感染の状況			
	①病床のひっ迫具合注3			③PCR陽性率	④新規報告数	⑤直近一週間と先週一週間の比較	⑥感染経路不明割合
	病床全体	うち重症者用病床					
ステージⅢの指標	・最大確保病床の占有率 1/5以上 ・現時点の確保病床数の占有率 1/4以上 ※最大確保病床とは、都道府県がピーク時に向けて確保しようとしている病床数をいう。 現時点の確保病床数とは、現時点において都道府県が医療機関と調整を行い、確保している病床数であり、直近に追加確保できる見込みがある場合はその病床分も追加して確認する。	・最大確保病床の占有率 1/5以上 ・現時点の確保病床数の占有率 1/4以上	人口10万人当たりの全療養者数15人以上 ※全療養者：入院者、自宅・宿泊療養者等を含めた数	10%	15人/10万人/週以上	直近一週間が先週一週間より多い。	50%
ステージⅣの指標	・最大確保病床の占有率 1/2以上	・最大確保病床の占有率 1/2以上	人口10万人当たりの全療養者数25人以上 ※全療養者：入院者、自宅・宿泊療養者等を含めた数	10%	25人/10万人/週以上	直近一週間が先週一週間より多い。	50%

注1 日々の入手可能性を踏まえつつ、発症日での検討結果も考慮する。

注2 大都市圏については、医療提供体制の負荷を見るための指標として救急搬送困難事例、監視体制をみるための指標として発症から診断までの日数についても参考指標として確認する。また、補助指標としてECMO装着数、人工呼吸器装着数(ECMO除く)、60歳以上新規報告数も参考とする。

注3 「①病床のひっ迫具合」の指標の総合的な判断にあたっては、直近の感染スピード等を勘案する必要があり、その速度が速く、この指標を満たした場合には少なくとも対策が必要となるものである。こうしたことも踏まえて、目安に満たない段階から、早めの対応を行うことが望ましい。一方で、継続的な感染の拡大が見られない時など、その速度の状況によっては、病床の占有率のみで判断をせず、特に総合的に判断することが望ましい。

注4 医療提供体制や公衆衛生体制のひっ迫具合については、入院患者のほか、ホテル等における宿泊療養や自宅療養も含めた全体の療養者数も影響することから指標として設定。

直近1週間の本県の状況 10/24(土)～10/30(金)

＜県の対策フェーズ切替の目安＞ 活動自粛への切替目安

活動状況の目安	流行状況			医療体制	その他
	直近の1週間の感染者数とその前1週間と比べ急増			<医療体制のひっ迫状況> 感染症病床の入院患者数 感染症病床数 =概ね5割以上	<国内や隣県の流行状況> <監視体制や検査体制> <緊急事態宣言の発令>
	クラスターが発生	倍化期間3日程度	5日間連続で新規感染者数が増加	<人員体制や衛生資材の確保>	
現況	該当 2か所で発生 (前週は3か所)	該当 9→15→31人 10/27～10/29	非該当 4日間連続まで 10/26～10/29	非該当 ・医療体制はひっ迫していない ・人員や衛生資材は確保されている	・流行は一部の都道府県に限定 ・検査体制はひっ迫していない ・緊急事態宣言は発令されていない

＜国のステージ移行の指標及び目安＞ ステージⅢの指標

指標	医療提供体制等の負荷		監視体制	感染の状況		
	①病床のひっ迫具合		③PCR陽性率	④新規報告数	⑤直近一週間と先週一週間の比較	⑥感染経路不明割合
	病床全体	うち重症者用病床				
	・最大確保病床数の占有率 1/5以上 ・現時点の確保病床数の占有率 1/4以上	・最大確保病床数の占有率 1/5以上 ・現時点の確保病床数の占有率 1/4以上	人口10万人当たりの全療養者数15人以上 ※入院者+自宅・宿泊療養者数	15人/10万人/週以上	直近一週間が先週一週間より多い	50%
現況	該当 28.8% 81床/281床	非該当 2.7% 1床/37床	非該当 5.50人	非該当 5.2% 79/1,511	非該当 4.18人	該当 24人→79人 非該当 11.14%

感染防止対策専門家チームの派遣体制の拡充について

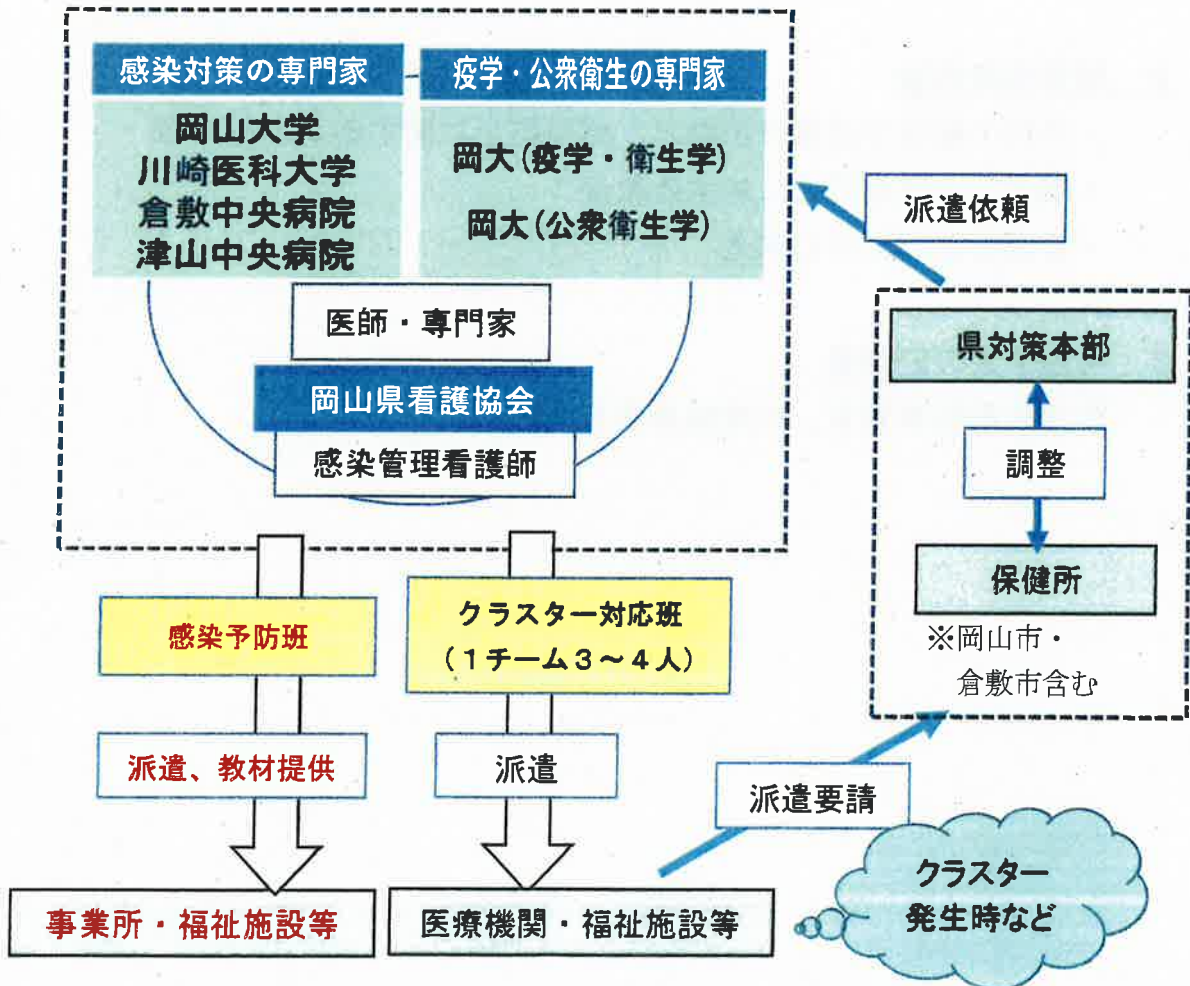
1 専門家チームの拡充

本年9月、医療機関や福祉施設においてクラスターなど感染症が発生した場合に、速やかに感染拡大防止対策を講じられるよう、感染症対策に係る専門家チーム（医師・看護師等）を編成し、派遣体制を構築したところ。

さらに、福祉施設や事業所などに対する感染予防対策への助言等を行うため、感染予防班を編成し、事業所等への感染予防研修を実施することとする。

- | | | |
|----------|----------------|---------------|
| (1)事務局機能 | 岡山大学(疫学・衛生学教室) | |
| (2)構成人数 | 医師 | 感染対策チーム 10名 |
| | | 疫学・公衆衛生チーム 7名 |
| | 看護師 | 15～20名程度 |

2 専門家チームの派遣体制



県北部における事業所等に対する感染予防対策の支援について

県北部の飲食店や事業所等において、クラスターが連続して発生したことから、事業所等における今後の感染防止対策の徹底を図っていただくため、感染症の専門家チームを派遣して、事業者のための感染予防研修会を実施する。

記

1 研修の目的

県の感染防止対策専門家チームの感染予防班を、研修会の講師として派遣し、事業所の従業者等に対し、感染防止に関する基本的知識等の講習を行い、事業所における感染防止対策の徹底を図る。

2 研修会の内容

- ・店内の配席や消毒方法など、感染防止に関する基本的知識
- ・職員への感染防止に対する教育
- ・管理者としての心構え

3 実施予定の研修会

飲食店関係事業者、大規模事業者向けの研修会

発熱患者等の診療・検査医療機関の指定について

インフルエンザ流行期に備え、多数の発熱患者等が地域で適切に相談・診療・検査を受けられる体制を整備するため、県医師会及び県病院協会の協力を得て、下記のとおり、診療・検査医療機関を10月30日付けで指定し、本日から診療開始とする。

1 指定医療機関の数

371 医療機関

<公表区分> 県ホームページ等で公表 101 医療機関
保健所や医療機関等での情報共有 270 医療機関

2 検査需要と検査能力（ピーク時）

検査需要（ピーク時）	検査（分析）能力
7, 787	8, 120

3 患者の受診方法

- ・患者は、かかりつけ医に相談し、電話予約の上、受診する。
- ・かかりつけ医を持たない場合は、県HPを閲覧するか、受診相談センター（保健所）に電話し、受診できる医療機関の案内を受ける。
- ・休日の受診案内のため、新たに休日受診相談センターを設置。
（医療機関に委託）

診療・検査医療機関（保健所別・市町村別）

保健所	市町村	医療機関数
岡山市保健所	岡山市	151
倉敷市保健所	倉敷市	72
備前保健所		36
	玉野市	6
	備前市	10
	瀬戸内市	13
	赤磐市	1
	和気町	2
	吉備中央町	4
備中保健所		49
	笠岡市	9
	井原市	7
	総社市	16
	浅口市	7
	早島町	3
	里庄町	3
	矢掛町	4
備北保健所		14
	高梁市	10
	新見市	4
真庭保健所		7
	真庭市	7
	新庄村	0
美作保健所		42
	津山市	27
	美作市	5
	鏡野町	3
	勝央町	2
	奈義町	2
	西粟倉村	1
	久米南町	1
	美咲町	1
岡山県		371

発熱や風邪のときは 「かかりつけ医」等に ご相談を!

風邪・インフルエンザ・新型コロナウイルス感染症は、いずれも発熱や咳など初期症状が似ています。こうした症状がある場合は、無理をして学校や職場等に行かないようにして、「発熱患者等の診療・検査医療機関」で相談・診療・検査をしてもらいましょう。

必ず
電話予約をし
マスクをして
受診してください



発熱や咳などの症状が出た場合

かかりつけ医がいる場合

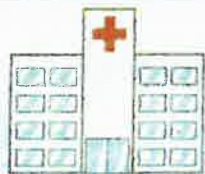
かかりつけ医に電話相談

(かかりつけ医が診療・検査医療機関である場合と
そうでない場合があります。
そうでない場合も紹介してもらえます。)

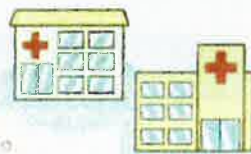
かかりつけ医がない場合

県ホームページでさがす
又は
受診相談センターに電話相談
(裏面に受診相談センター一覧表)

発熱患者等の診療・検査医療機関



県内に350を超える診療・検査医療機関があります。
(このうち、ホームページに掲載しているのは、約100医療機関)



必ず事前に電話をして予約の上、受診してください。



岡山県
OKAYAMA PREFECTURE

受診する診療・検査医療機関をさがす方法

かかりつけ医をお持ちの方は、まずはかかりつけ医にご連絡ください。
かかりつけ医を持ちてない方や、対応できない時間帯の場合は、下記を参照してください。

岡山県ホームページ

岡山県 新型コロナ



受診相談センター（保健所）

※平日の場合（9:00～17:00）

センター（保健所）名	所管区域	電話番号
岡山市保健所	岡山市	086-803-1360
倉敷市保健所	倉敷市	086-434-9819
備前保健所	玉野市、瀬戸内市、吉備中央町	086-272-3934
備前保健所 東備支所	赤磐市、和気町、備前市	0869-92-5180
備中保健所	総社市、早島町	086-434-7072
備中保健所 井笠支所	笠岡市、里庄町、浅口市、 矢掛町、井原市	0865-69-1675
備北保健所	高梁市	0866-21-2836
備北保健所 新見支所	新見市	0867-72-5691
真庭保健所	真庭市、新庄村	0867-44-2990
美作保健所	津山市、鏡野町、美咲町、 久米南町	0868-23-0163
美作保健所 勝英支所	美作市、勝央町、奈義町、 西粟倉村	0868-73-4054

受診相談センター（休日）

TEL:086-226-7925（担当医療機関へ転送）

※土曜・日曜・祝日の場合（8:00～18:00）

一般相談窓口（24時間対応）

TEL:086-226-7877

※夜間の場合 健康相談はできません。受診案内のみ。

新型コロナに係る想定病床確保数及び宿泊療養施設の想定確保居室数

項目	想定確保病床数	整備状況 (10月30日時点)
合計	250床 (内訳) 重症病床 40床 中等症病床 210床	281床 (内訳) 重症病床 37床 中等症病床 244床
(1)受入医療機関 (フェーズ1 重点医療機関含む)	100床程度 (内訳) 重症病床 20床程度 中等症病床 80床程度 ※うち重点医療機関の病床確保数 70床程度	101床 (内訳) 重症病床 25床 中等症病床 76床 ※うち重点医療機関の病床確保数 75床
(2) 受入医療機関 (フェーズ2及び3)	100床程度 (内訳) 重症病床 20床程度 中等症病床 80床程度	147床 (内訳) 重症病床 11床 中等症病床 136床
(3)受入医療機関 (フェーズ4)	50床程度 (内訳) 中等症病床 50床程度	33床 (内訳) 重症病床 1床 中等症病床 32床
協力医療機関	20~40床程度	5医療機関 15床
宿泊療養施設	180室程度	1か所 207室

(参考) フェーズの考え方等

<フェーズ別 新型コロナ対応医療機関>

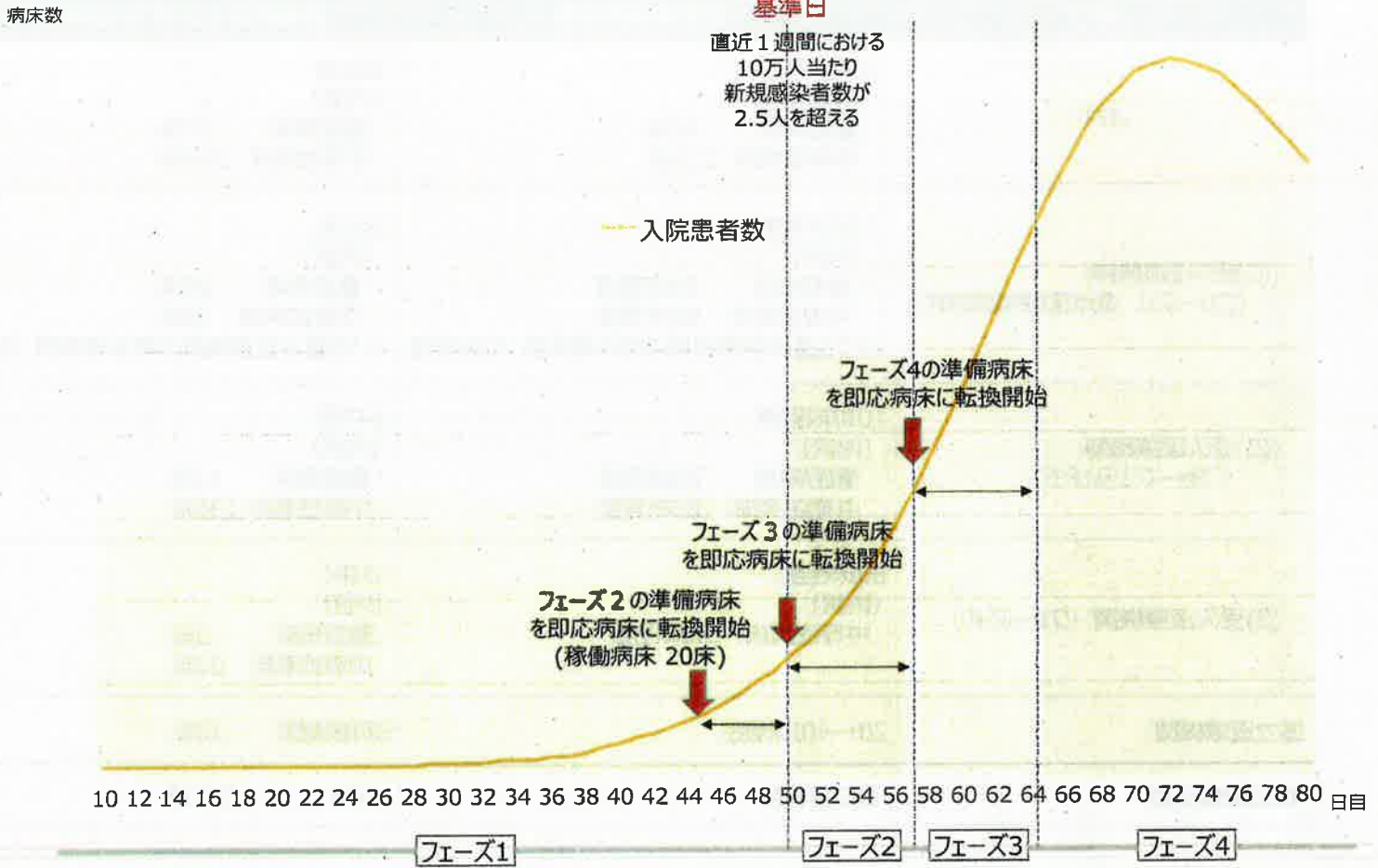
	対応医療機関			
	フェーズ1	フェーズ2	フェーズ3	フェーズ4
(1)受入医療機関 (フェーズ1)	●	●	●	●
(2)受入医療機関 (フェーズ2及び3)	○	● ○	● ●	● ●
(3)受入医療機関 (フェーズ4)			○	●

●：即応病床 ○：準備病床

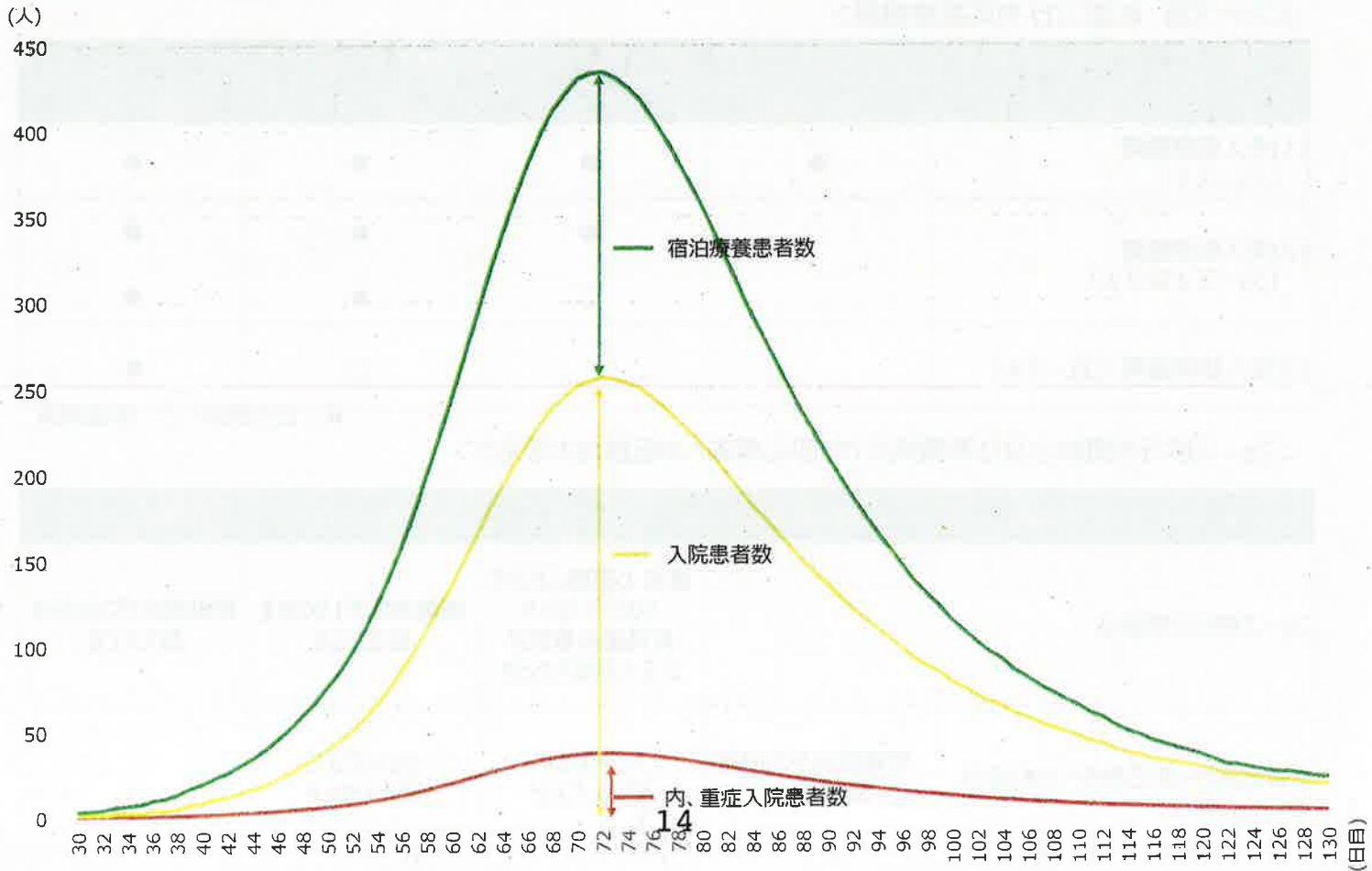
<フェーズ移行の開始点及び準備病床から即応病床への転換点の考え方>

	フェーズ1	フェーズ2	フェーズ3	フェーズ4
フェーズ移行の開始点		直近1週間における 10万人当たり 新規感染者数が 2.5人を超えたとき	稼働病床が150床を 超えたとき	稼働病床が200床を 超えたとき
準備病床から即応病床への転換点	稼働病床が20床を 超えたとき	フェーズ2に 移行したとき 13	フェーズ3に 移行したとき	

(参考) 新型コロナ入院患者数の推移に伴うフェーズ移行のイメージ



(参考) 療養患者（入院患者+宿泊療養患者）数の推移



10月確定に絞った県内の動向 (11月1日日曜までの公開データを用いて)

residence	Freq.	Percent	Cum.
井原市	2	1.49	1.49
倉敷市	2	1.49	2.99
勝央町	20	14.93	17.91
奈義町	3	2.24	20.15
岡山市	23	17.16	37.31
新見市	2	1.49	38.81
津山市	48	35.82	74.63
浅口市	3	2.24	76.87
県外	1	0.75	77.61
真庭市	2	1.49	79.10
総社市	12	8.96	88.06
美作市	3	2.24	90.30
美咲町	8	5.97	96.27
鏡野町	5	3.73	100.00
Total	134	100.00	

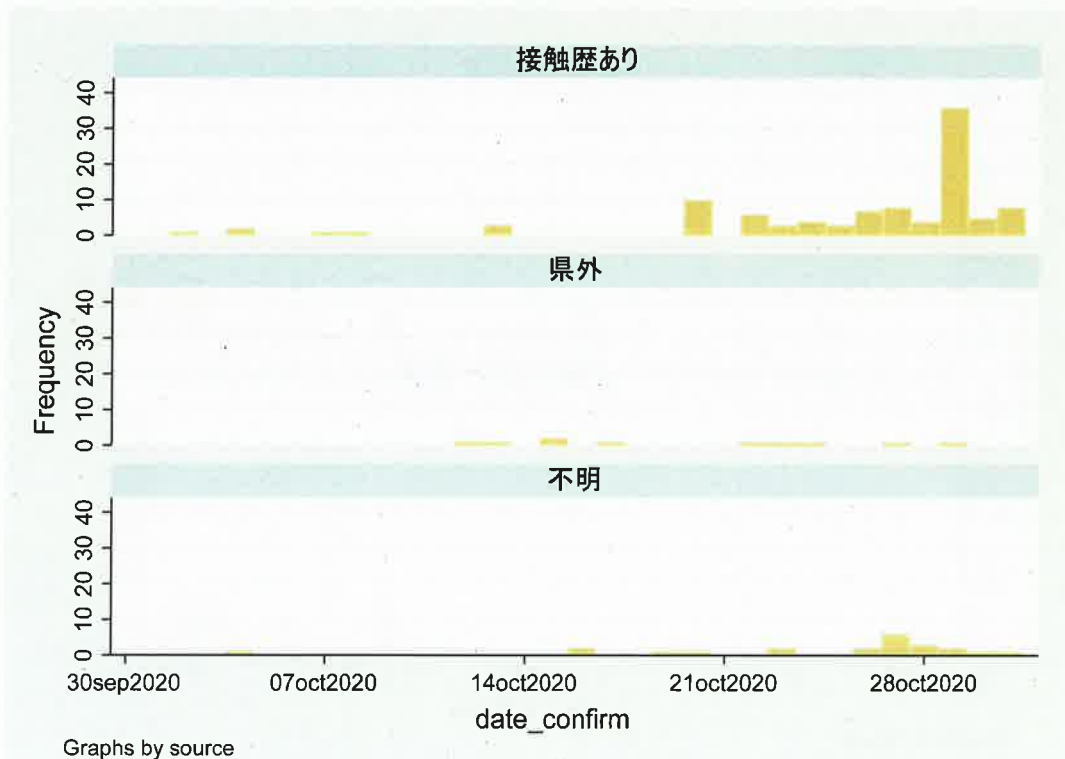
sex	Freq.	Percent	Cum.
女性	63	47.01	47.01
男性	64	47.76	94.78
非公開	7	5.22	100.00
Total	134	100.00	

source	Freq.	Percent	Cum.
接触歴あり	102	76.12	76.12
県外	10	7.46	83.58
不明	22	16.42	100.00
Total	134	100.00	

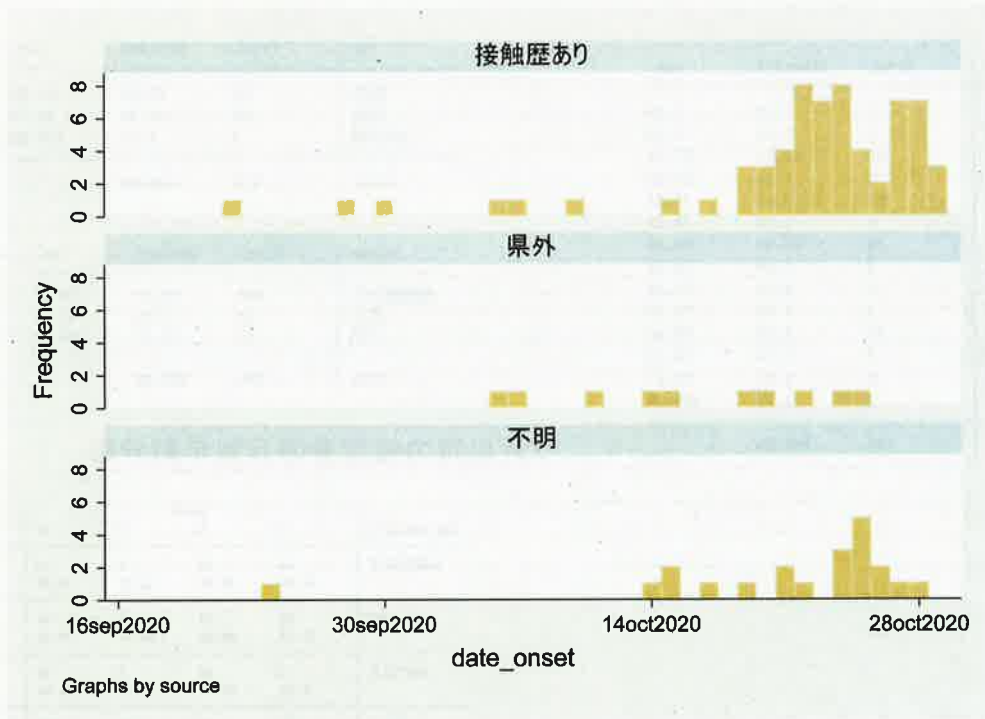
7月以降の確定者の月別年齢分布

age_category	month				Total
	7	8	9	10	
20歳以下	33 57.89	19 34.55	2 16.67	39 30.00	93 36.61
30-50代	19 33.33	22 40.00	8 66.67	50 38.46	99 38.98
60代以上	5 8.77	14 25.45	2 16.67	41 31.54	62 24.41
Total	57 100.00	55 100.00	12 100.00	130 100.00	254 100.00

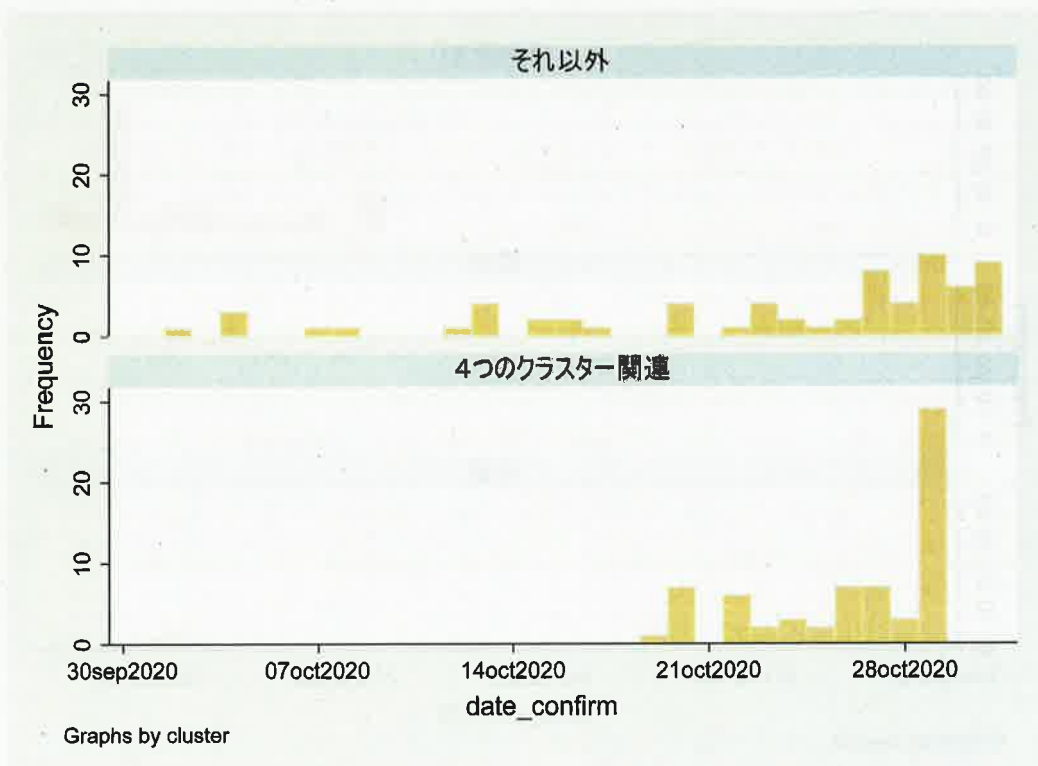
予想原因別流行曲線(確定日)



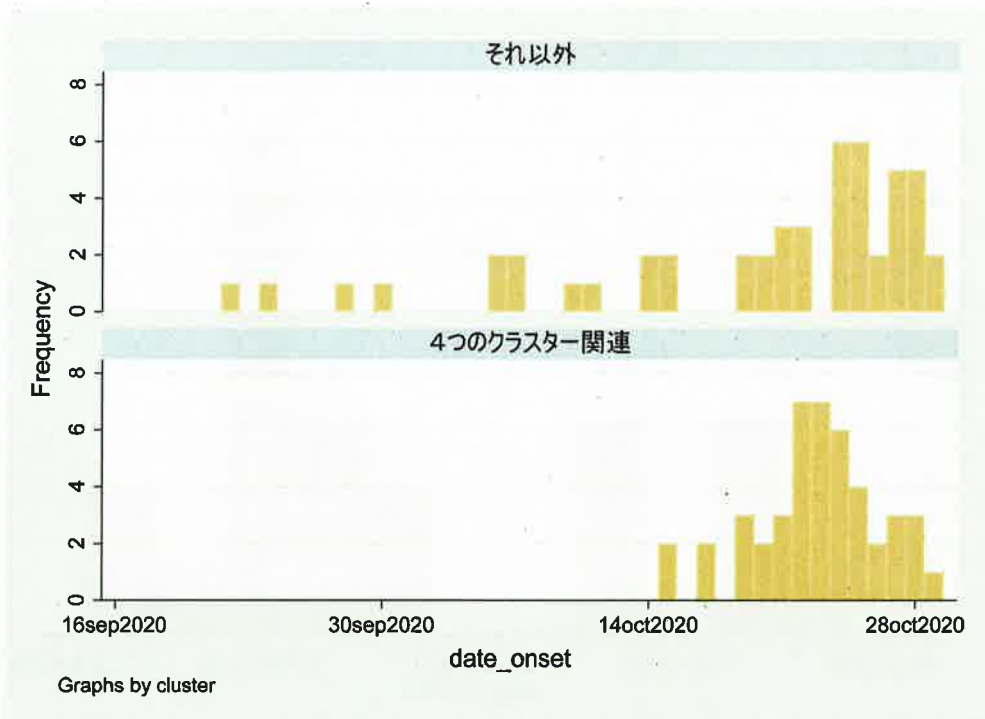
予想原因別流行曲線(発症日)



クラスター関連流行曲線(確定日)



クラスター関連流行曲線(発症日)



津山市内医療機関

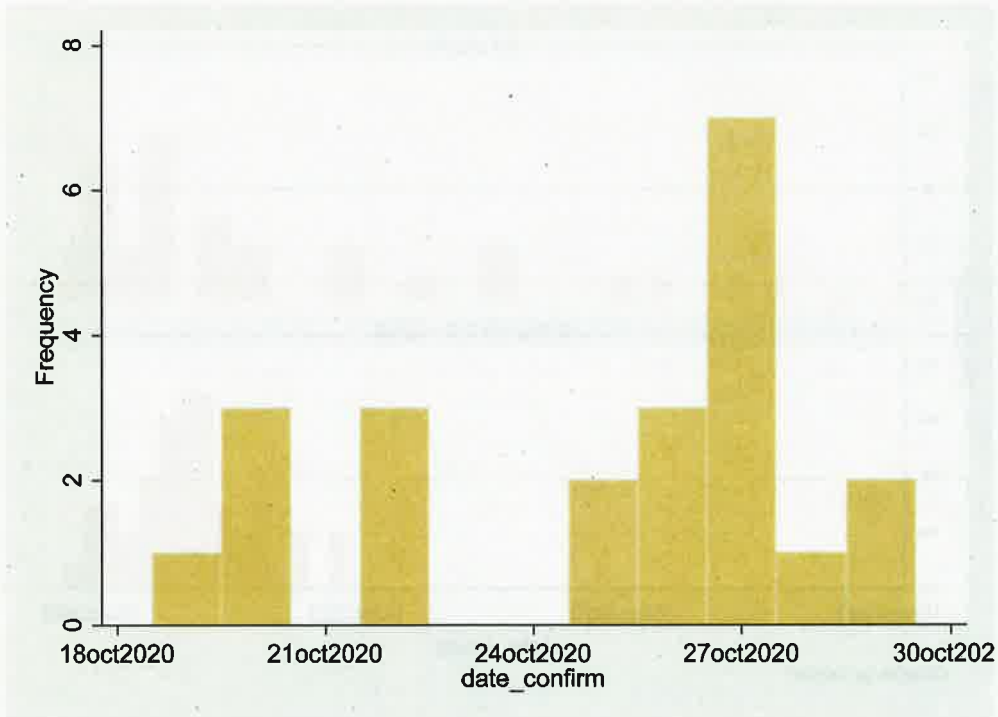
residence	Freq.	Percent	Cum.
津山市	15	68.18	68.18
県外	1	4.55	72.73
美咲町	5	22.73	95.45
鏡野町	1	4.55	100.00
Total	22	100.00	

age	Freq.	Percent	Cum.
20代	5	22.73	22.73
30代	1	4.55	27.27
40代	1	4.55	31.82
60代	3	13.64	45.45
70代	4	18.18	63.64
80代	7	31.82	95.45
90代以上	1	4.55	100.00
Total	22	100.00	

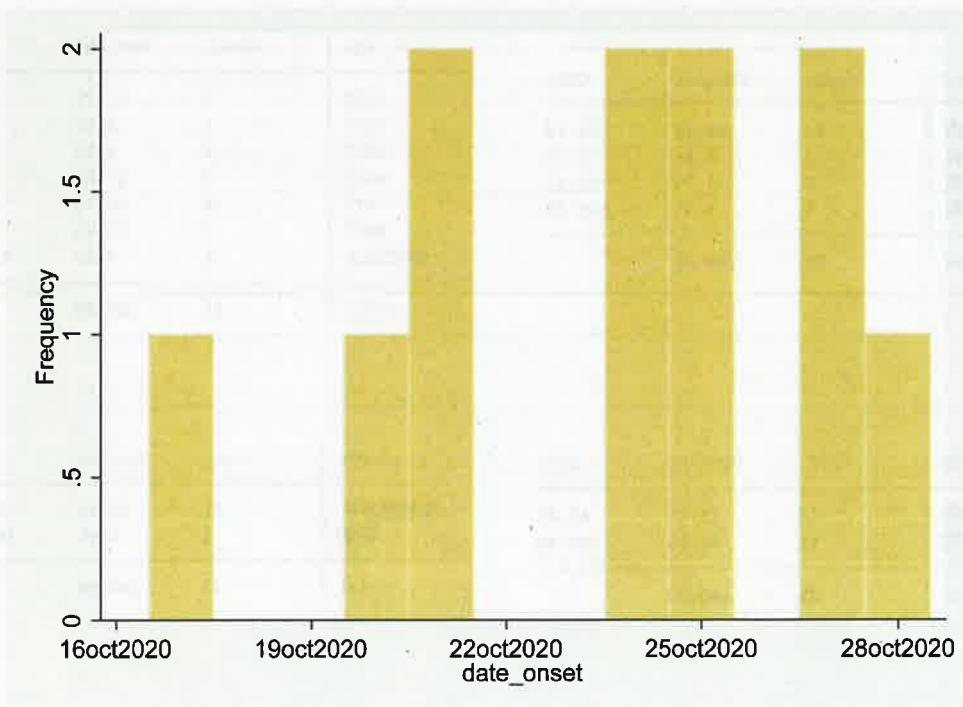
sex	Freq.	Percent	Cum.
女性	10	45.45	45.45
男性	12	54.55	100.00
Total	22	100.00	

source	Freq.	Percent	Cum.
接触歴あり	21	95.45	95.45
不明	1	4.55	100.00
Total	22	100.00	

流行曲線(確定日)



流行曲線(発症日)



総社市内高齢者施設

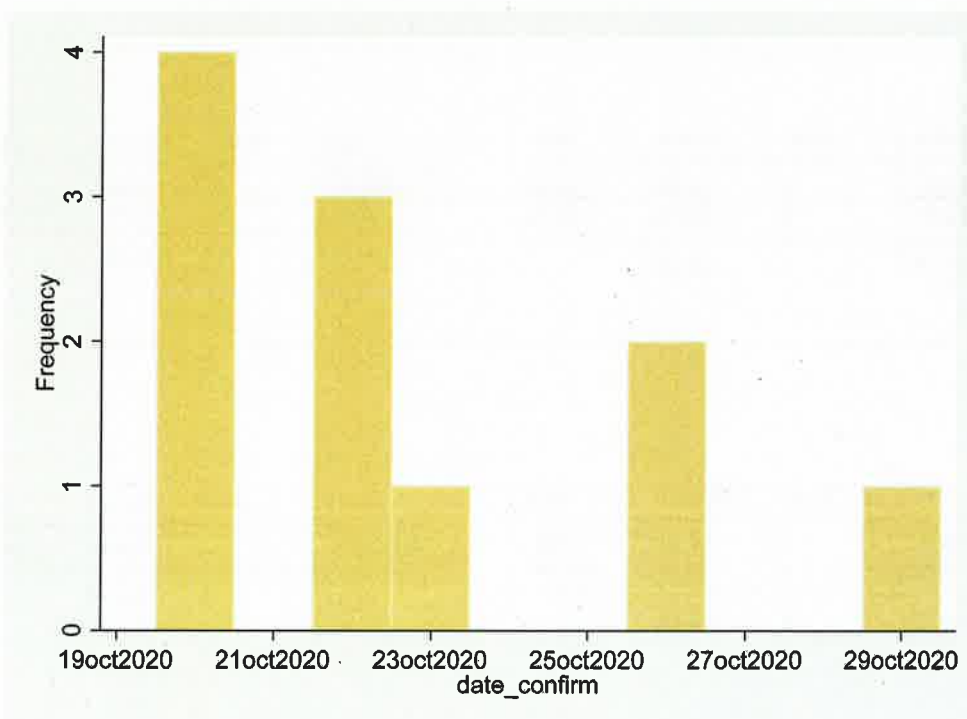
residence	Freq.	Percent	Cum.
総社市	11	100.00	100.00
Total	11	100.00	

age	Freq.	Percent	Cum.
10代	1	9.09	9.09
20代	2	18.18	27.27
30代	1	9.09	36.36
40代	1	9.09	45.45
70代	1	9.09	54.55
90代	3	27.27	81.82
90代以上	2	18.18	100.00
Total	11	100.00	

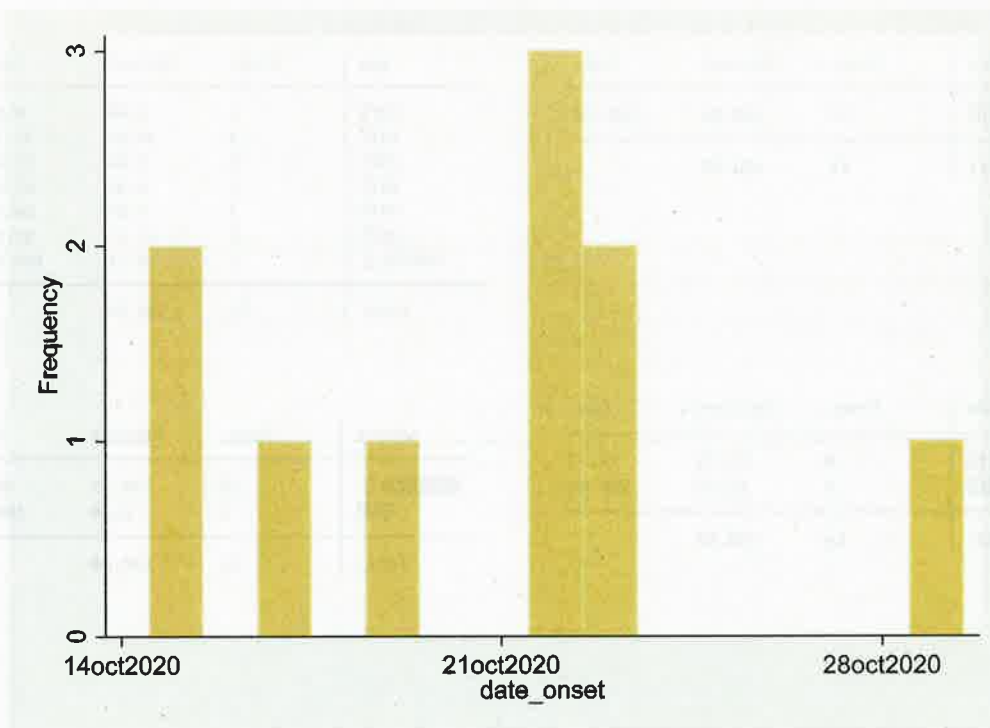
sex	Freq.	Percent	Cum.
女性	8	72.73	72.73
男性	3	27.27	100.00
Total	11	100.00	

source	Freq.	Percent	Cum.
接触歴あり	10	90.91	90.91
不明	1	9.09	100.00
Total	11	100.00	

流行曲線(確定日)



流行曲線(発症日)



会食によるクラスター

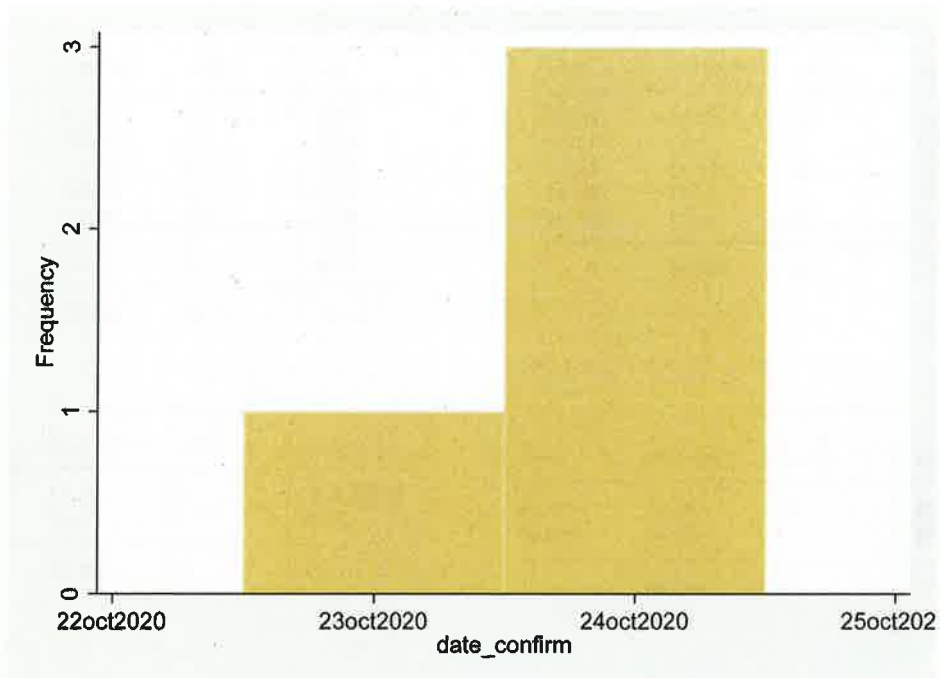
residence	Freq.	Percent	Cum.
勝央町	2	50.00	50.00
津山市	2	50.00	100.00
Total	4	100.00	

age	Freq.	Percent	Cum.
10歳未満	1	25.00	25.00
20代	3	75.00	100.00
Total	4	100.00	

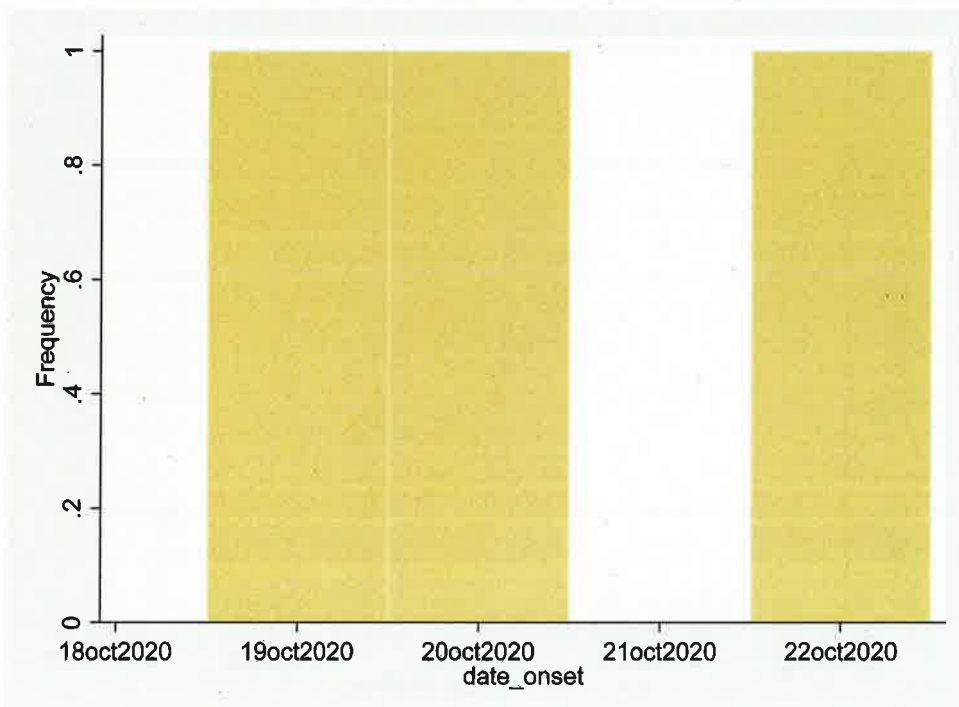
sex	Freq.	Percent	Cum.
女性	3	75.00	75.00
男性	1	25.00	100.00
Total	4	100.00	

source	Freq.	Percent	Cum.
接触歴あり	4	100.00	100.00
Total	4	100.00	

流行曲線(確定日)



流行曲線(発症日)



勝央町内事業所クラスター

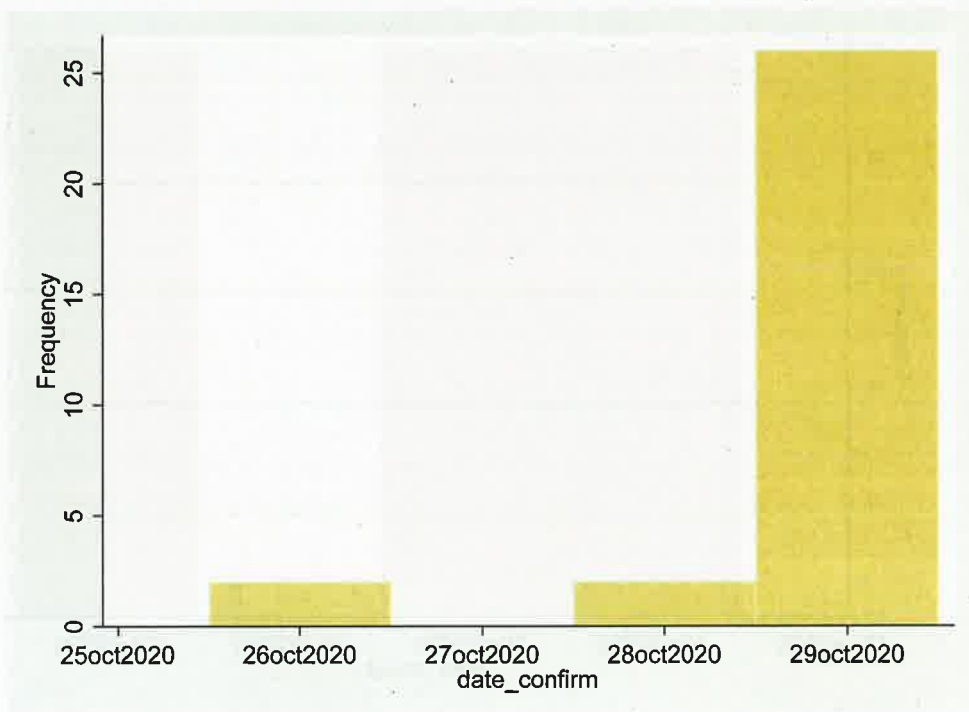
residence	Freq.	Percent	Cum.
勝央町	12	40.00	40.00
奈義町	1	3.33	43.33
津山市	13	43.33	86.67
美作市	2	6.67	93.33
美咲町	2	6.67	100.00
Total	30	100.00	

age	Freq.	Percent	Cum.
10代	2	6.67	6.67
20代	3	10.00	16.67
30代	5	16.67	33.33
40代	6	20.00	53.33
50代	11	36.67	90.00
60代	2	6.67	96.67
70代	1	3.33	100.00
Total	30	100.00	

sex	Freq.	Percent	Cum.
女性	21	70.00	70.00
男性	9	30.00	100.00
Total	30	100.00	

source	Freq.	Percent	Cum.
接触歴あり	28	93.33	93.33
不明	2	6.67	100.00
Total	30	100.00	

(E) 流行曲線(確定日)



流行曲線(発症日)

